

2019年度心理臨床センター活動報告

1. 開室状況

開室日数は255日（月平均21.3日）、勤務のべ人数は1393人（月平均116.1人）だった。

2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1のとおりだった。

Table 1 電話対応の内訳

月	新規 申込	継続 予約	中止・ 変更	紹介	その 他	合計
4月	5	3	11	0	9	28
5月	2	6	9	0	12	29
6月	5	4	8	0	12	29
7月	2	3	8	0	12	25
8月	2	2	4	0	8	16
9月	2	1	2	0	4	9
10月	5	5	5	0	14	29
11月	3	7	7	0	18	35
12月	3	4	6	0	6	19
1月	3	4	11	0	14	32
2月	2	3	5	0	4	14
3月	6	6	7	0	14	33
合計	40	48	83	0	127	298
月平均	3.3	4.0	6.9	0.0	10.6	24.8

3. 相談件数

年間の相談受理件数は66件だった。年間のべ356件の相談（月平均29.7件）を受理した。各月における面接形態の内訳は Table 2のとおりだった。なお、2019年度に実施した心理検査は Table 3のとおりであった。

Table 2 相談の内訳

月	初回 面接	心理 相談	並行 面接	心理 査定	その 他	合計
4月	3	22	0	0	0	25
5月	4	23	0	2	0	29
6月	2	26	0	2	0	30
7月	2	37	2	20	0	61
8月	2	18	1	0	0	21
9月	1	8	1	16	0	26
10月	5	25	2	2	0	34
11月	2	20	0	1	0	23
12月	2	24	2	1	0	29
1月	2	26	2	0	0	30
2月	0	20	0	0	0	20
3月	2	24	1	0	1	28
合計	27	273	11	44	1	356
月平均	2.3	22.8	0.9	3.7	0.1	29.7

Table 3 2019年度に実施した心理検査

検査名		実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	47
AAQ-W:	Acceptance and Action Questionnaire for Weight-Related	1
ADHD-RS	ADHD Rating Scale-IV	2
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	14
AQ 児童用	Autism-Spectrum Quotient 日本語版 児童用	5
ASCA:	Anger Scale for Chiledren and Adolescents	1
BADS-SF	Bahavioral Activation for Depression Scale-Short Form	8
BDI-II:	The Beck Depression Inventory-II	55
CABS:	Children's Avoidance Behavior Scale	13
CCES:	Children's Cognitive Error Scale	1
CDI:	Children's Depression Inventory	3
CES-D:	The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale	2
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	41
CPAS:	Children's Pleasant Activity Scale	13
DN-CAS	Das-Naglieri Cognitive Assessment System	2
DSRS-C:	Depression Self-Rating Scale for Children	16
DSRS-P:	Depression Self-Rating Scale for Parent	17
FAS-SR	Family Accommodation Scale for Obsessive-Compulsive Disorder Self-Rated Version	1
GAD-7:	Generalized Anxiety Disorder Questionnaire	16
GHQ30:	The General Health Questionnaire	6
HCL33	Hypomania Check list-33	9
育児感情尺度		2
J-ZBI 8:	Zarit 介護負担尺度日本語版の短縮版	5
LSAS-J:	Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版	31
MEDSCI	Manic Episode Diagnostic Screening Inventory	2
M.I.N.I.:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	14
親の養育態度尺度		2
PedsQL:	Pediatric Quality of Life Inventory	1
PHQ-9:	Patient Health Questionnaire	23
QOL26:	WHO Quality of Life 26	36
Rorschach Test		35
RRQ:	Rumination-Reflection Questionnaire	5
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	17
SCAS-P:	Parent Version of the Spence Children's Anxiety Scale	18
SDQ:	The Strengths and Difficulties Questionnaire	13
SDQ-P:	The Strengths and Difficulties Questionnaire for Parents	13
SF-36v2:	MOS 36-Item Short-Form Health Survey	12
Short CAS:	Short version of Spence Children's Anxiety Scale	1
新版 S-M 社会生活能力検査		2
新版 STAI:	State-Trait Anxiety Inventory-JYZ	26
STAI:	State-Trait Anxiety Inventory	5
VQ:	Valuing Questionnaire	12
WAIS-III:	Wechsler Adult Intelligence Scale-III	6
WISC-IV:	Wechsler Intelligence Scale for Children-IV	3
Y-BOCS:	The Yale-Brown Obsessive Compulsive Scale	1
全検査合計		558

4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1-3のとおりだった。

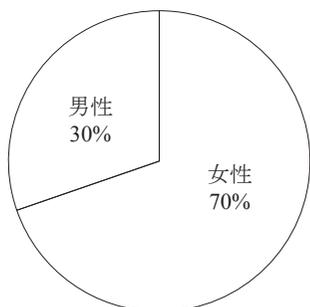


Figure 1 相談者の男女比

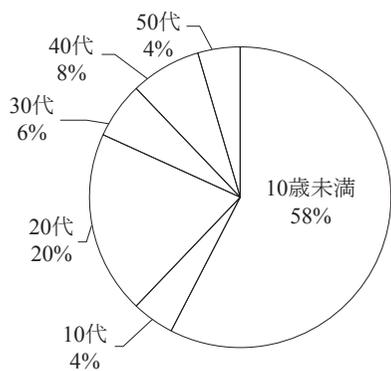


Figure 2 相談者の年齢層

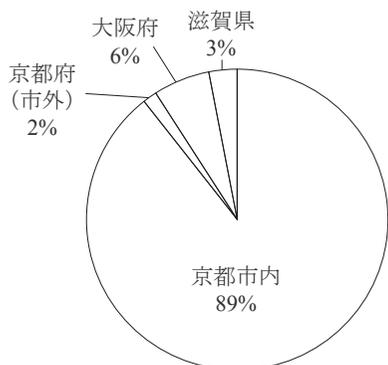


Figure 3 相談者の居住地域

5. 主訴内訳

主訴の内訳は Table 4のとおりだった。

Table 4 主訴の内訳 (件数)

子どもの発達・不安	44
うつ・不安	6
家族関係	3
勤務問題	2
対人関係	1
摂食障害	1
強迫性障害	1
健康への不安	1
介護	1
その他	6
合計	66

6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯は Table 5のとおりだった。

Table 5 来談経緯 (件数)

学校より紹介	39
新聞広告	1
知人より紹介	6
ホームページ	8
病院より紹介	5
パンフレット	0
その他	9
合計	68

(複数回答)

7. 特別プログラム実施状況

2019年度には3つの特別プログラムが実施され (Table 6), 相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 6 2019年度実施特別プログラム

プログラム	面接数 ^{注1)}
子どもの不安と抑うつ改善プログラム: にげチャレ教室	29
更年期症状改善プログラム: さらさら教室	10
認知症の介護ストレスケアプログラム: しなやかケア教室	5
合計	44

注1) 面接数は初回, 継続, 査定の合計を指す

8. 実習実績

博士課程前期課程9名の相談研修員が在籍し, 本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は230.5時間, 一人あたりの平均実習時間は25.6時間だった (スーパーバイズに必要な時間を含まない)。実習形態は Table 7のとおりだった。

Table 7 実習形態の内訳

面接担当 ^{注1)}	43.0
面接陪席 ^{注2)}	145.0
プレイ	5.0
検査	16.0
受付	7.5
その他	14.0
合計	230.5

注1) ケースでの主担当を指す

注2) 面接室での同席, あるいはカメラシステムを介した観察を指す

9. 広報活動

「認知症の介護ストレスケアプログラム: しなやかケア教室」広告掲載 (京都市リビング, 5月11日)

10. 心理臨床センター委員会

第1回

日 時 2020年3月5日 (木)

19:07-19:18

場 所 彰栄館1階 会議室

出席者 内山 伊知郎 (センター長), 杉若 弘子 (副センター長), 上田 雅弘 (学生支援機構長), 植木 朝子 (教育支援機構長), 谷本 高彦 (総務部長), 友淵 雅行 (心理学部・心理学研究科事務室事務長, 以下事務長と記載)

11. 心理臨床センター運営委員会

第1回

日 時 2019年4月17日 (水)

13:00-15:00

場 所 継志館 心理臨床センター研修室

出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 中谷 隆志 (事務長)

第2回

日 時 2019年5月15日 (水)

13:00-14:07

場 所 継志館 心理臨床センター研修室

出席者 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友淵 雅行 (事務長)

第3回

日 時 2019年5月29日 (水)

2019年度心理臨床センター活動報告

- 13:00-14:55
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第4回
 日時 2019年6月12日 (水)
 13:00-14:58
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第5回
 日時 2019年6月26日 (水)
 12:55-13:55
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第6回
 日時 2019年7月10日 (水)
 13:00-14:55
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第7回
 日時 2019年7月24日 (水)
 13:00-14:55
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一, 武藤 崇, 興津 真理子, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤
- 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第8回
 日時 2019年10月9日 (水)
 13:30-14:47
 場所 尋真館 心理臨床センタースタッフルーム
 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第9回
 日時 2019年10月23日 (水)
 13:00-13:55
 場所 尋真館 心理臨床センタースタッフルーム
 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第10回
 日時 2019年11月6日 (水)
 13:00-14:11
 場所 尋真館 心理臨床センタースタッフルーム
 出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)
- 第11回
 日時 2019年11月13日 (水)
 13:00-14:41
 場所 尋真館 心理臨床センタースタッフルーム
 出席者 石川 信一, 武藤 崇, 大屋 藍子, 笹川 宏樹, 嶋 大樹, 杉若 弘子 (副センター長), 梅澤 友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行 (事務長)

第12回

日時 2019年12月11日(水)
13:00-14:30
場所 尋真館 心理臨床センタースタッフ
ルーム
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,
大屋 藍子, 笹川 宏樹, 佐藤 豪,
嶋 大樹, 杉若 弘子(副センター
長), 梅澤 友香里, 横山 有果里,
友瀧 雅行(事務長)

第13回

日時 2020年1月8日(水)
13:00-14:18
場所 尋真館 心理臨床センタースタッフ
ルーム
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,
大屋 藍子, 笹川 宏樹, 嶋 大樹,
杉若 弘子(副センター長), 梅澤
友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行
(事務長)

第14回

日時 2020年3月4日(水)
13:00-15:01
場所 尋真館 心理臨床センタースタッフ
ルーム
出席者 石川 信一, 毛利 真弓, 武藤 崇,
大屋 藍子, 笹川 宏樹, 嶋 大樹,
杉若 弘子(副センター長), 梅澤
友香里, 横山 有果里, 友瀧 雅行
(事務長)

12. 研究活動

刊行物(著書・論文等)

阿部 望・岸田 広平・石川 信一 子ども用強
み注目尺度の作成と信頼性・妥当性の検討
パーソナリティ研究, 28(1), 42-53.
藤井 彩・佐藤 豪・木村 穰 慢性身体疾患の
一次・二次・三次予防にいかす認知行動療
法: 糖尿病, 心不全, 生活習慣病, 共同的
ケア 生活習慣病領域のチーム医療におけ

る臨床心理士の役割: 肥満症治療を中心に
認知療法研究, 13(1), 15-17.

早樫 一男 「児童福祉」 特集 公認心理師の
ための法律入門——仕事に役立つ法と制度
の必携知識—— 臨床心理学, 19(4), 426-
429.

石井 僚・村山 航・福住 紀明・石川 信一・大
谷 和夫・榎 美知子・鈴木 高志・田中 あ
ゆみ 家庭の所有物を用いた中学生用簡易
版社会経済的地位代替指標の作成 心理学
研究, 90(5), 493-502.

石川 信一 子どもの不安症, 教育分野の認知
行動療法, 教育分野における認知行動療法
の適用, 子どもの怒り・攻撃への支援 日
本認知・行動療法学会(編) 認知行動療
法事典(pp.156-157, 393, 394-395, 412-
413) 丸善出版

石川 信一 介入研究 日本健康心理学会(編)
健康心理学事典(pp.602-603) 丸善出版

石川 信一 第5章 子どもの不安症, うつ病
——目立たないけど苦しんでいる子どもを
救いたい—— 岡島 義・金井 嘉宏(編)
使う使える臨床心理学(pp.83-102)
弘文堂

石川 信一 ワークブックを活用して認知行動
療法をどのように伝えるか——イラストで
わかる子どもの認知行動療法 困ったとき
の解決スキル36—— 心理臨床科学, 9,
55-62.

Ishikawa, S., Chen, J., Fujisawa, D., &
Tanaka, T. The development,
progress, and current status of
cognitive behavior therapy in Japan.
Australian Psychologist, 1-8. doi:
10.1111/ap.12450

石川 信一・肥田 乃梨子 第16章 認知行動療
法からみた援助要請 水野 治久(監修)
木村 真人・飯田 敏晴・永井 智・本田 真
大(編) 事例から学ぶ 心理職としての
援助要請の視点——「助けて」と言えない
人へのカウンセリング—— (pp.134-141)

- 金子書房
- Ishikawa, S., Kikuta, K., Sakai, M., Mitamura, T., Motomura, N., & Hudson, J. L. A randomized controlled trial of a bidirectional cultural adaptation of cognitive behavior therapy for children and adolescents with anxiety disorders. *Behaviour Research and Therapy*, doi: 10.1016/j.brat.2019.103432
- Ishikawa, S., Kishida, K., Oka, T., Saito, A., Shimotsu, S., Watanabe, N., Sasamori, H., & Kamio, Y. Developing the universal unified prevention program for diverse disorders for school-aged children. *Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health* doi: 10.1186/s13034-019-0303-2
- 石川 信一・村澤 孝子・岡 琢哉・桑原 千明・神尾 陽子 小学校におけるメンタルヘルス予防プログラムの実装 「こころの健康教室サニタ」 心の健康発達・成長支援マニュアル2020, 99-106.
- Ito, M. & Muto, T. Effectiveness of acceptance and commitment therapy for irritable bowel syndrome non-patients: A pilot randomized waiting list controlled trial. *Journal of Contextual Behavioral Science*, 15, 85-91.
- 金山 裕望・庭山 和貴・石川 信一・佐藤 寛 自閉スペクトラム症傾向児と定型発達児との共同学習場面における対人相互作用 関西学院大学心理科学研究, 46, 45-53.
- 加藤 澄江・石川 信一 登校しづりを示す小学1年生の児童に対する認知行動療法 認知療法研究, 12, 141-151.
- 岸田 広平 子どもの怒りに対する認知の歪みモデルに関する基礎研究 ストレス科学研究, 34, 81-82.
- 岸田 広平・石川 信一 子ども用快活動尺度の作成および信頼性と妥当性の検討 認知行動療法研究, 45, 61-72.
- 岸田 広平・石川 信一 児童青年の不安症と抑うつ障害に対する回避行動に焦点化した診断横断的介入プログラムの予備的試験 認知行動療法研究, 45, 73-85.
- 岸田 広平・石川 信一 青年の怒りに対する認知行動療法——イライラを主訴とする中学生に対する実践—— 認知療法研究, 12, 130-140.
- 岸田 広平・石川 信一 児童青年に対する診断横断的介入のフォローアップの有効性の予備的検討 心理学研究, 91, 63-68.
- 毛利 真弓 治療共同体の理念と歴史(Ⅱ部第1章) 藤岡淳子(編著) 治療共同体実践ガイド(pp.37-75) 金剛出版
- 毛利 真弓 刑務所での加害者支援に治療共同体を生かす(Ⅲ部第4章) 藤岡淳子(編著) 治療共同体実践ガイド(pp.181-197) 金剛出版
- 村澤 孝子・小國 真由子・中村 佳永子・石川 信一・肥田 乃梨子 「子どもためのメンタルヘルスプログラム」の社会実装 公衆衛生情報, 49(9), 20-21.
- 中西 陽・石川 信一・青山 三智子・杉若 弘子 自閉スペクトラム症児のための社会的スキル尺度親評定版の信頼性と妥当性の再検討 LD 研究, 29, 85-93.
- Ohtani, K., Murayama, K., Ishii, R., Fukuzumi, N., Sakaki, M., Ishikawa, S., Suzuki, T., & Tanaka, A. Parental motivational perseverance predicts adolescents' depressive symptoms: An intergenerational analysis with Actor-Partner Interdependence Model. *Journal of Youth and Adolescence*, 49, 212-227.
- 大屋 藍子 チョイスポイントとは何か——“ACT Questions & Answers”(Harris, 2018)で導入された新しいセラピーツールの紹介—— 心理臨床科学, 9, 63-66.

大屋 藍子 健康教育 日本認知・行動療法学会(編) 認知行動療法事典 (pp.438-439) 丸善出版

大屋 藍子・楨野 久士・孫 徹・椽谷 真由・玉那覇 民子・大畑 洋子・肥塚 諒・松尾 美紀・河面 恭子・藤井 紀子・金子 春恵・河合 幸枝・福島 佳織・万福 尚紀・細田 公則・武藤 崇 2型糖尿病患者の疾患に対する回避とセルフケア行動の関連 糖尿病, 62(12), 748-754.

岡島 義・井端 累衣・乳原 彩香・田中 佑樹・尾棹 万純 国内外における自記式不眠関連尺度の現状 東京家政大学附属臨床相談センター紀要 20, 45-58.

興津 真理子 家族関係 日本健康心理学会(編) 健康心理学事典 (pp.368-369) 丸善出版

興津 真理子 第7章大人も発達するの? — 成人期, 老年期の発達と家族支援 — 藤崎 亜由子・羽野 ゆつ子・渋谷 郁子・網谷 綾香(編) あなたと生きる発達心理学 — 子どもの世界を発見する保育のおもしろさを求めて — (pp.73-83) ナカニシヤ出版

Ozono, S., Nagamitsu, S., Matsuishi, T., Yamashita, Y., Ogata, A., Suzuki, S., Mashida, N., Koseki, S., Sato, H., Ishikawa, S., Togasaki, Y., Sato, Y., Sato, S., Sasaki, K., Shimada, H., & Yamawaki, S. Reliability and validity of the Children's Depression Inventory Japanese version. *Pediatrics International*, doi:10.1111/ped.13984

齊藤 早苗・嶋 大樹・富田 望・対馬 ルリ子・熊野 宏昭 便秘を自覚する成人女性における体験の回避が腹痛および腹満感の頻度に及ぼす影響 心身医学, 60(4), 339-348.

笹川 宏樹 児童虐待の現状とリスク要因 心理臨床科学, 9, 31-38.

嶋 大樹・熊野 宏昭 日常生活下における行動の変化を捉える — Ecological Momentary Assessment (EMA) の応用 — 行動

科学, 58(2), 87-95.

嶋 大樹・熊野 宏昭 10年以上の経過を持つ広場恐怖を伴うパニック症の女性へのアクセプタンス&コミットメント・セラピー 認知療法研究, 13(1), 79-89.

杉若 弘子 体罰 日本認知・行動療法学会(編) 認知行動療法事典 (pp.428-429) 丸善出版
高橋 まどか・前田 わかな・嶋 大樹・井上 和哉・齋藤 順一・熊野 宏昭 Creative Hopelessness 成立プロセスの実験的検討 — Acceptance and Commitment Therapy 関連尺度の変化から — 行動医学研究, 24(2), 73-83.

竹村 忠寛・杉若 弘子 人を対象とした復元研究の動向と臨床的示唆 心理臨床科学, 9, 15-30.

田辺 雄一・岸田 広平・佐田久 真貴 日本の小学校教師における抑うつ症状に対する教師ストレス及び自動思考の影響 パーソナリティ研究, 28, 160-163.

乳原 彩香・石川 信一 不眠症状の改善をもたらす認知行動的要因とその媒介効果に関する展望 認知行動療法研究, 46, 1-14.

乳原 彩香・岸田 広平・石川 信一 高校生の睡眠に関する非機能的な信念が不眠症状に及ぼす影響の検討 学校メンタルヘルス, 22, 71-79.

吉川 翔・武藤 崇 アルコール関連問題に対するACT介入実施に向けた探索的調査研究 — 心理的関連因子に注目して — 心理臨床科学, 9, 3-13.

学会活動

阿部 望・岸田 広平・石川 信一 学校での強み介入が中学生の精神的健康に及ぼす影響 (日本心理学会第83回大会, 立命館大学大阪いばらきキャンパス, ポスター発表, 9月13日)

Abe, N., Kishida, K. & Ishikawa, S. Influence of strengths knowledge and use on mental health among Japanese

- adolescents (The 6th World Congress on Positive Psychology, Melbourne, ポスター発表, 7月)
- Arai H., & Ishikawa, S. Examining Cultural Influences in the Treatment of Anxiety Disorders: Encounters Between East and West (World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies (9th), Berlin, シンポジウム話題提供, 7月)
- Arai, H., Sekim Y., Okawa, S., Takahashi, S., Ishikawa, S., Simizu, E., Korte, K., & Schmidt, B. False Safety Behavior Elimination Therapy for social anxiety disorder and comorbid conditions in a clinical setting: A pilot study. (World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies (9th), Berlin, ポスター発表, 7月)
- Bando, N., Fujioka, J., Nosaka, S. & Mori, M. Group-based programs for offenders and victims of sexual violence in Japan (The 24th Conference of the World Association for Sexual Health, Mexicocity, United Mexican States, ポスター発表, 10月15日)
- 藤井 彩・石原 俊一・佐藤 豪・木村 穰 心リハにおける心不全患者と虚血性心疾患患者の心理特性からみた評価 (第25回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 7月)
- 藤井 彩・佐藤 豪・井上 健太郎・木村 穰 公認心理師からみた家族サポートの乏しいケースの心理社会的評価およびケアの問題点とコツ (第40回日本肥満学会・第37回肥満症治療学会合同学術集会, 東京, 口頭発表, パネルディスカッション (指名), 11月2日)
- 藤井 彩・佐藤 豪・井上 健太郎・木村 穰 認知行動療法, チーム医療とソーシャルサポートが奏功した肥満外来・肥満外科手術の超高度肥満症の一例 (第2回日本心身医学関連学会合同集会, 大阪, ポスター発表, 11月15日)
- 橋口 知輝・武藤 崇 更年期症状の女性に対する集団形式のアクセプタンス&コミットメント・セラピーを用いた介入に関する予備研究 (日本認知・行動療法学会第45回大会, ポスター発表, 8月)
- Hashiguchi, K., Yoshikawa, S., Hasebe, K., Nakamura, M., & Muto, T. Comparing Mindfulness with Self-Compassion and Acceptance as Predictors of Middle-aged Females' Health Status. (Association for Contextual Behavioral Science World Conference 17, Dublin, Ireland, ポスター発表, 6月)
- Hida, N., & Ishikawa, S. Effect of Mental Health Prevention Program for Deaf and Hard of Hearing Children. (World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies (9th), Berlin, ポスター発表, 7月)
- 石川 信一 児童思春期に対する認知行動療法 (第19回日本認知療法・認知行動療法学会, 東京, 教育講演, 8月30日)
- 石川 信一 学校教育の中で認知行動療法が生き延びるためには? (日本認知・行動療法学会第45回大会, 名古屋, シンポジウム話題提供, 8月31日)
- 石川 信一 学校で使える認知・行動療法2——チーム連携・チームアプローチ—— (日本認知・行動療法学会第45回大会, 名古屋, 指定討論, 8月31日)
- 石川 信一 子どもの認知行動療法——困った! こんなときどうする? (日本認知・行動療法学会第45回大会, 名古屋, ワークショップ講師, 9月1日)
- 石川 信一 カウンセリングに活かす援助要請の視点 (日本心理学会第83回大会, 大阪, シンポジウム話題提供, 9月12日)
- 石川 信一 児童青年に対する学校で行う心理

- 教育的援助サービスとしての抑うつ予防介入——その有効性と実践例—— (日本心理学会第83回大会, 大阪, シンポジウム話題提供, 9月13日)
- 伊藤 一樹・角谷 寛・上津 昌広・松田 有史・宮本 都和・乳原 彩香・松尾 雅博・角 幸頼・吉村 篤・森田 幸代 滋賀県内の2つの異なった睡眠センターにおいてのAHI/REIを実施した新患者背景の比較 (後ろ向きコホート研究) (第57回睡眠呼吸障害研究会, 品川インターシティホール, 口頭発表, 2月)
- Ito, M. & Muto, T. Evaluation of Acceptance and Commitment Therapy for Irritable Bowel Syndrome Non-Patients. (ABAI 10th International Conference. Stockholm, Sweden, ポスター発表, 9月)
- Kishida, K., & Ishikawa, S. Mechanisms of behavioral activation for depressive symptoms in children: Comparison of non- and sub-clinical group in a community sample. (World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies (9th), Berlin, ポスター発表, 7月)
- 毛利 真弓 TC (治療共同体) の歴史と日本における男性加害者の TC 実践 (第18回トラウマティック・ストレス学会, シンポジウム話題提供, 京都テルサ, 6月16日)
- Nakanishi, Y., & Ishikawa, S. Development of Autism Social Skills Assessment for Parents, and a Test of its Reliability and Validity. (World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies (9th), Berlin, ポスター発表, 7月)
- 西尾 悠佑・荒井 穂菜美・石川 信一 ポジティブ感情に対する認知的反応の違いがその後の感情の変化に及ぼす影響 (第19回日本認知療法・認知行動療法学会, 東京, ポスター発表, 9月)
- Ohya, A., Makino, H., Tochiya, M., Ohata, Y., Koezuka, R., Hosoda, K., & Muto, T. The relationship between avoidance of disease and self-care behavior in patients with type 2 diabetes ACBS (Association for Contextual Behavioral Science) World Conference 17th, Dublin, Ireland, ポスター発表, 6月27日)
- 嶋 大樹・熊野 宏昭 セルフモニタリングはアクセプタンスを促進するのか? (日本マインドフルネス学会第6回大会, ポスター発表, 8月)
- 嶋 大樹・武藤 崇 その体験的技法で大丈夫? ——文化的背景に着目した体験的技法の効果検討の経過報告(2)—— (日本心理学会第83回大会, ポスター発表, 9月)
- 杉若 弘子 「留学生ネットワーク」の活用を考える (日本心理学会第83回大会, 学会企画シンポジウム, 企画, 9月12日)
- Sugiwaka, H. & Okouchi, H. Discounting of Reward Value by Dedicated Effort. (The 10th International ABA Conference, Stockholm, Sweden, ポスター発表, 9月)
- 角 幸頼・乳原 彩香・松尾 雅博・角谷 寛・石川 信一 レム睡眠行動障害患者における認知機能低下の特徴 (第44回日本睡眠学会, 名古屋国際会議場, 口頭発表, 6月)
- 鈴木田 英里・興津 真理子・山根 隆宏 家族造形法における親からのサポートの程度の表現と家族理解の変化に関する検討 (第31回日本発達心理学会大会, ポスター発表, 3月)
- 徳田 文美・杉若 弘子 「あたたかい言葉かけ」がレジリエンスに与える影響 (日本心理学会第83回大会, ポスター発表, 9月12日)
- 津田 菜摘・奥山 朝子・園田 翔希・牧野 心・西井 絢香・武藤 崇 精神疾患に対するスティグマへの脱フュージョンによる介入

—潜在的・顕在的指標による効果測定
—(日本心理学会第83回大会, ポスター
発表, 9月)

Tsuda, N., Okuyama, A., Sonoda, S., Makino, K., Nishii, A., Muto, T., Is it possible to use FAST in Non-English countries?: An example of cultural adaptation. In Tani, T (chair), Can we capture AARRing in non-English speaking participants (Japanese and Chinese)?-modified IRAP, FAST and developing a new measure: the Kanji Maze Technique (KMT). ACBS (Association for Contextual Behavioral Science) World Conference 17th Dublin, Ireland. シンポジウム, 6月)

乳原 彩香 こころの健康に寄与する睡眠改善アプローチ「CBT-Iの効果と改善プロセス」(第32回日本健康心理学会, 帝京科学大学千住キャンパス, シンポジウム話題提供, 9月)

Ubara, A., & Ishikawa S. The effect of psychological mediators on Cognitive Behavioral Therapy for Insomnia (CBT-I): A review. (9th World Congress of Behavioural and Cognitive Therapies, The City Cube Berlin, 7月)

乳原 彩香 高等教育における学生支援(4): 学生の先延ばし行動とメンタルヘルス「大学生の先延ばしに対するセルフヘルプ型認知行動療法の効果 Effect of Intervention for undergraduates' procrastination」(第83回日本心理学会, 立命館大学茨木キャンパス, シンポジウム話題提供, 9月)

乳原 彩香・角 幸頼・松尾 雅博・角谷 寛・石川 信一 レム睡眠行動障害患者におけるドパミン神経変性と認知機能低下の関連についての検討(第44回日本睡眠学会, 名古屋国際会議場, 口頭発表, 6月)

Ubara, A., Sumi, Y., Matsuo, M.,

Kadotani, H., Ishikawa, S. Using the Japanese version of the Brief Assessment of Cognition in Schizophrenia (BACS-J) to assess cognitive function in patients with REM sleep behavior disorder. (8th World Sleep Congress, Vancouver, 9月)

乳原 彩香・角谷 寛・尾関 祐二 ベンゾジアゼピン系薬剤依存患者の不眠症状と減薬に対する認知行動療法の経過(第126回近畿精神神経学会, 神戸大学楠キャンパス, 口頭発表, 2月)

研究会活動

早樫 一男・古川 秀明・興津 真理子 現任者のための家族援助研修会(京都家族造形研究会, こどもみらい館, 8月31日)

石川 信一 子どもの認知行動療法——洋の東西を問わず?——(児童青年認知行動療法研究会, 大阪, 講演, 2月9日)

岸田 広平 子どもの怒りに対する認知の歪みモデルに関する基礎研究(パブリックヘルス科学研究助成金 2018年度研究成果報告会, 口頭発表, 12月14日)

13. 社会貢献

講演・公開講座

古川 秀明・早樫 一男・興津 真理子 家族援助を目指す人のための研修会2019(こどもみらい館, 8月31日)

早樫 一男 ジェノグラムから家族関係を考える2019(平成31年度大阪府福祉専門職研修(対人援助基礎研修)講師, 大阪府庁, 5月23日, 6月4日)

早樫 一男 ジェノグラムを通して, 家族の歴史と物語に耳を傾ける, 寄り添う(京都グリーフケア協会 看護師・助産師コース 上級, 講師, 4月12日, 6月14日, 8月30日, 10月11日, 2月14日)

早樫 一男 本人・家族の関係性理解のための

- ジェノグラム入門 (樫原市社会福祉協議会
令和元年度ケアマネジャー支援研修会, 講
師, 樫原市コンベンションルーム, 9月13日)
- 早樫 一男 家族の見立てと支援を学ぶ (京都
府臨床心理士会 司法・福祉部局 研修会,
講師, ハートピア京都, 9月16日)
- 早樫 一男 ジェノグラムを活用した家族理解
と支援(奈良県中央子ども家庭相談センター
令和元年度児童虐待対応スキルアップ研修,
講師, 奈良県社会福祉総合センター, 9月
24日)
- 早樫 一男 (2019年度 富山県中新川郡医師会
第4回在宅医療推進加速化事業研修会, 講師,
上市町保健福祉総合センター, 11月17日)
- 早樫 一男 家族の多様性に合わせた支援を考
える(奈良県児童虐待防止ネットワーク「き
ずな」第26回事例研究会, 講師, 奈良弁護
士会館, 11月30日)
- 早樫 一男 令和元年度 児童福祉司任用後研
修(奈良県福祉医療部子ども・女性局, 講
師, 奈良県中央子ども家庭相談センター,
12月5日)
- 早樫 一男 令和元年度 圏域 相談支援スキ
ルアップ研修パート2 (南丹圏域障害児総
合支援ネットワーク相談支援部会, 講師,
2月21日)
- 石川 信一 子どもの不安と抑うつ——不安を
乗り越える認知行動療法—— (ソーシャル
ワーカー養成講座「治療教育講座」, 京都
国際社会福祉センター会議室, 6月25日, 7
月2日)
- 石川 信一 子どもの不安症に対する認知行動
療法 (第27回岡山小児心身症研究会, 岡山
大学病院構内マスカットホール, 6月30日)
- 石川 信一 子どものためのメンタルヘルス予
防プログラム (子どものためのメンタルヘル
ス予防教育プログラム タスクフォース
養成研修会, 同志社大学今出川キャンパス
良心館 R305, 7月26日)
- 石川 信一 子どものうつと不安症 (広島市教
育センター研修会, 広島県健康福祉センター,
8月1日)
- 石川 信一 やさしく学ぶ児童青年の認知行動
療法 (心理職のための「解決志向」実践講
座, 天理大学会議室, 8月24日)
- 石川 信一 共生社会の実現のために必要な力
とは——円滑な人間関係をつくるために
—— (東城陽中学校区学校地域連携推進会
議, 城陽市東部コミュニティセンター, 10
月29日)
- 石川 信一 子どものためのメンタルヘルス予
防プログラム (子どものためのメンタルヘル
ス予防教育プログラム タスクフォース
養成研修会, ふくちやま市民交流プラザ会
議室4-1, 12月16日)
- 毛利 真弓 性非行をした者に対する処遇の実
情について (岡山家庭裁判所研修会, 岡山
家庭裁判所, 6月27日)
- 毛利 真弓 暴力被害をなくすために——加害
者更生の道のりから—— (令和元年版 大
阪府箕面市 女性に対する暴力防止講演会,
らいとびあ21, 11月21日)
- 毛利 真弓 性問題行動をもつ児童・少年への
対応について (京都府心理判定員会議研修,
京都府総合家庭支援センター, 11月29日)
- 毛利 真弓 性問題行動の理解と支援について
——施設内処遇職員にできること—— (令
和元年度中国・四国児童自立支援施設職員
研修会, 広島県立広島学園, 12月5日)
- 毛利 真弓 施設での児童間性的問題行動の理
解と対応 (広島県 児童養護施設等心理療
法担当職員研修, 広島県東部子ども家庭セ
ンター, 12月16日)
- 毛利 真弓 「良心」と非行・犯罪行動の心理学
(同志社大学 良心学シンポジウム, 同志
社大学今出川キャンパス, 1月8日)
- 毛利 真弓 性非行のアセスメント (J-SOAP-
II を中心に) (広島県 子ども家庭センター
等中堅職員研修, 広島県西部子ども家庭セ
ンター, 2月14日)
- 毛利 真弓 再犯防止に心理学の知見を活かす
(令和元年度 枚方・交野地区保護司会

第4回定期研修会, ラポールひらかた, 2月20日)

毛利 真弓 回復共同体プログラム概要 (島根県弁護士会主催 「プリズン・サークル」 上映会&トークセッション, 松江テルサ, 2月24日)

大屋 藍子 診療で使うアクセプタンス&コミットメント・セラピー (糖尿病患者さんのココロのケアセミナー, 名古屋, 4月20日)

笹川 宏樹 体罰を伴うしつけを断ち切るための保護者支援 (与謝野町要保護児童対策地域協議会代表者会議講演, 10月8日)

笹川 宏樹 児童福祉・障害者福祉の現場に居て, 離れて, 立ち止まって (第17回全国児童発達支援施設運営協議会大阪大会第3分科会, 12月2日)

笹川 宏樹 子ども家庭支援のためのケースマネジメント (令和元年度子ども家庭福祉人材専門性強化事業「児童福祉司任用後研修」, 12月13日)

笹川 宏樹 養育困難のある人への介入技法・養育者の自己肯定感を高める援助技術 (葛城市養育支援訪問事業支援員研修会, 12月24日・1月7日)

笹川 宏樹 心理学的理論と心理学的支援 (奈良県社会福祉士会令和元年度国家試験対策集中講座, 1月10日)

笹川 宏樹 児童虐待防止に向けた地域の取組 (令和元年度舞鶴市要保護児童対策地域協議会代表者会議, 1月28日)

笹川 宏樹 解決に焦点を当てた面接と, 対応のバリエーション (令和元年度京都市発達支援コーディネータースキルアップ研修会, 2月27日)

笹川 宏樹 障害児虐待の現状と課題 (児童発達支援センターいっば職員研修会, 3月25日)

田中 あゆみ・松浦 直己・光岡 浩昌・山崎 裕子・毛利 真弓(他) 公開シンポジウム「矯正教育の実績と課題——近年の少年非行と矯正教育を考える——」(同志社大学京田辺キャンパス, 11月30日)

田中 あゆみ・田村 綾女・阿部 望・伊藤 雅隆・柿沼 亨祐・江 聚名・津田 菜摘・乳原 彩香 ひらめき・ときめきサイエンス——ようこそ大学の研究室へ—— KAKENHI「心理学博士たちの一日——やる気を高める方法を開発せよ——」(第2回)(同志社大学京田辺キャンパス, 8月4日)

その他

阿部 望 「WCPP 2019 参加記」寄稿 心理臨床科学, 9, 44.

橋口 知輝 「ACBS World Conference にて」寄稿 心理臨床科学, 9, 43.

伊藤 雅隆 「北海道より北の国から ABAI 10th International conference@Stockholm」寄稿 心理臨床科学, 9, 41.

岸田 広平 「WCBCT 2019 in Berlin の参加記」寄稿 心理臨床科学, 9, 39.

毛利 真弓 大阪府再犯防止推進計画検討懇話会委員 (大阪府政策企画部 青少年・地域安全室治安対策課主催, 8月1日, 9月5日, 11月21日)

大屋 藍子 国立循環器病研究センター健康管理システム会議における助言・指導 (国立循環器病研究センター予防健診部, 10月4日, 2月28日)

津田 菜摘 「ACBS World Conference 参加記」寄稿 心理臨床科学, 9, 42.

乳原 彩香 2019年 学校メンタルヘルス優秀論文賞 (編集委員長賞) 論文名「高校生の睡眠に関する非機能的な信念が不眠症状に及ぼす影響の検討——睡眠相後退(Delayed Sleep Phase)に着目した検討——」(10月26日受賞決定, 2月8日受賞式)

乳原 彩香 「World Sleep 2019 参加記」寄稿 心理臨床科学, 9, 40.

2018年度 未記載の活動記録

早樫 一男 児童とその家族をめぐる法と倫理 日本家族心理学会 (編) 家族心理学ハンドブックⅦ 法と倫理 (pp.378-385) 金

子書房

早樫 一男 家族への理解への手立てを考える
(平成30年度奈良県児童福祉施設連盟 第
1回職員研修会, 講師, 奈良県社会福祉総
合センター, 5月11日)

早樫 一男 ジェノグラムから家族関係を考え
る 2018 (平成30年度大阪府福祉専門職研
修 (対人援助基礎研修), 講師, 大阪府庁,
5月21日, 5月31日)

早樫 一男 ジェノグラムを活用した家族理解
と支援(平成30年度児童虐待対応スキルア
ップ研修, 講師, 奈良県社会福祉総合セン
ター, 9月11日)

早樫 一男 平成30年度 児童福祉司任用前講
習会及び児童福祉司任用後研修 (講師, 奈
良県中央子ども家庭相談センター, 11月6日)

早樫 一男 児童虐待を防ぐために私たちにで
きること (平成30年度 中丹親子保健研修,
講師, 京都府北部産業創造センター, 11月
13日)

早樫 一男 富山県中新川郡医師会主催 平成
30年度 第3回 在宅医療推進加速化事業
研修会 (講師, かみいち総合病院, 11月17
日)

早樫 一男 当事者・家族の背景を理解するツ
ールとしてのジェノグラムの活用 (五條・吉
野地域自立支援協議会療育・教育支援部会
勉強会, 講師, 大淀町文化会館, 1月27日)

早樫 一男 家族理解のためのジェノグラム入
門 (芦屋市ケアマネジャー友の会, 研修講
師, 2月23日)

菊田 和代 部会の活動——産業部会より 大
阪府臨床心理士会 News Letter, 48, 9.

菊田 和代 主な分野に関する制度⑤ (産業・
労働) (一般社団法人日本心理研修センター
2019年現任者講習会, ファシリテーター,
2月24日)

菊田 和代 主な分野に関する課題と事例検討
⑤ (産業・労働) (一般社団法人日本心理
研修センター 2019年現任者講習会, ファ
シリテーター, 3月27日)

菊田 和代 職場との関わり (一般社団法人日
本臨床心理士会主催 2018年度定例研修会
II (大阪) 第16回産業・組織心理臨床専門
研修会 シンポジウム「公認心理師法施行
後の産業領域の心理職のあり方」, 話題提供,
2月17日)

14. 2019年度構成員

センター長

内山伊知郎 (心理学部 教授)

副センター長

杉若 弘子 (心理学部 教授)

指導相談員

佐藤 豪 (心理学部 教授)

笹川 宏樹 (心理学部 客員教授)

武藤 崇 (心理学部 教授)

興津真理子 (心理学部 教授)

石川 信一 (心理学部 教授)

毛利 真弓 (心理学部 准教授)

特任指導員

早樫 一男 (心理学部 嘱託講師)

菊田 和代

(実証に基づく心理・社会的トリートメン
ト研究センター 嘱託研究員)

大屋 藍子 (心理学部 助教)

嶋 大樹 (心理学部 助教)

相談員

梅澤友香里 (心理臨床センター)

横山有果里 (心理臨床センター)

相談研修員

上西 祐輝

(心理学研究科博士課程後期課程)

伊藤 雅隆

(心理学研究科博士課程後期課程)

中西 陽

(心理学研究科博士課程後期課程)

岸田 広平

(心理学研究科博士課程後期課程)

阿部 望

2019年度心理臨床センター活動報告

(心理学研究科博士課程後期課程)

津田 菜摘

(心理学研究科博士課程後期課程)

乳原 彩香

(心理学研究科博士課程後期課程)

橋口 知輝

(心理学研究科博士課程後期課程)

松木 美佳

(心理学研究科博士課程前期課程)

松岡 里紗

(心理学研究科博士課程前期課程)

竹村 忠寛

(心理学研究科博士課程前期課程)

八谷 勇斗

(心理学研究科博士課程前期課程)

横井 沙郁

(心理学研究科博士課程前期課程)

伊井 彩郁

(心理学研究科博士課程前期課程)

奥山 朝子

(心理学研究科博士課程前期課程)

徳田 文美

(心理学研究科博士課程前期課程)

吉川 翔

(心理学研究科博士課程前期課程)

荒井穂菜美

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

橋本 光平

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

肥田乃梨子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

河田 江美

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

森下 結花

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

西尾 悠佑

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

四宮 愛香

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

金 逸蓉

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

町田 奈穂

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

徳田 弘之

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

米澤 里奈

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)